

## 第 28 回直方市子ども・子育て会議議事録

日時：令和 7 年 2 月 12 日（月）18 時 30 分～

会場：直方市役所 5 階 502 会議室

出席者：植村委員（会長）、大和委員（副会長）、池田委員、平委員、長谷川委員、野口委員、松村委員

事務局：教育委員会 熊井部長（途中退席）

こども育成課 岩尾課長、大田原係長、十時係長、村島主査、野瀬主事補

### 《議題》

#### 1) 第 3 期子ども・子育て支援事業計画について

- ① パブリックコメント後の修正等、その他について
- ② 第 3 期子ども・子育て支援事業計画（最終案）答申について

#### 2) 利用定員の協議について

#### 3) その他

- ① 子ども・子育て会議部会（乳幼児推進部会）の進捗状況について（報告）
- ② 直方市放課後児童健全育成事業業務委託事業者について（報告）
- ③ 直方市地域子育て支援センター委託事業者について（報告）
- ④ 令和 7 年度の施設整備について（報告）
- ⑤ 次回の会議について（5 月第 3 週を予定）

#### 議題 1) 第 3 期子ども・子育て支援事業計画について

##### ① パブリックコメント後の修正等、その他について

○子ども・子育て支援事業計画（案）についてパブリックコメントでいただいた意見をふまえ、変更等行ったことについて事務局から説明。

- ・こどもへのアンケート調査の結果が資料編になかったため追加してほしいという意見について、提案どおりに対応。
- ・量の確保方策の意見については、本文の一部を修正して対応。その他の意見は原案通りで対応。
- ・今後は誤字や言い方などの簡易な修正を行うとともに、令和 6 年度の実績報告値や本会議について記載を加え、HP に記載する予定。

##### ○質疑応答

（委員）こどもへのアンケート調査の有効回収率が 38.6%だったことについてどのように

評価しているか。また、どのような方法で実施したのか。

(事務局) 毎年保護者に対してアンケートを行っているが、いつも大体 4 割ほどであり今年が極端に高いわけでも低いわけでもない。方法については、QR を配布して Web で回答してもらっている。支援員の先生を通じて回答をしていない方への声かけも行っている。

(委員) 紙で回答すれば回答率が上がるのでは。

(事務局) 配布しているのは QR のみだが、必要な方には声をかけてもらえば紙を渡すようにしている。今回紙で回答した人はいなかった。回答率が上がるようなアンケートの実施方法について検討していきたいと思う。

## ② 第 3 期子ども・子育て支援事業計画（最終案）答申について

- ・第 3 期子ども・子育て支援事業計画（最終案）について会長から市長（部長）へ答申。

議題 1 については承認。

## 議題 2) 利用定員の協議について

○保育所・幼稚園・認定こども園の定員変更について報告。

- ・若草保育園の利用定員は 120 名だが、本年度に入ってから現在も利用定員を下回っており来年度も利用定員を下回ることが確実であるため定員変更協議を 90 名で行った。
- ・浄福寺幼稚園も本年度利用定員を下回っており来年度も利用定員を下回ることが確実であるため協議を行い、75 名から 60 名に定員を変更した。
- ・新生第二こども園の 3 号定員の増員は令和 6 年度建替えを行っており、国の補助率嵩上げによるものとなっている。利用定員は 80 人から 90 人の変更。

議題 2 については承認

## 議題 3) その他

① 子ども・子育て会議部会（乳幼児推進部会）の進捗状況について（報告）

○子ども・子育て会議の乳幼児教育推進部会について、事務局から進捗状況を報告。

- ・ 4 回目の会議を 2 月 3 日に開催した。
- ・ 3 月に開催される 5 回目（最終）の会議に向けて現在素案をまとめている。
- ・ 完成したものを 5 月に開催される子ども・子育て会議で示す。

② 直方市放課後児童健全育成事業業務委託事業者について（報告）

○直方市放課後児童健全育成事業業務委託事業者について事務局から結果を報告。

- ・ 二次審査を 11 月 14 日に実施し、19 日に結果を公表した。

- ・新入・直方南・直方北・直方西学童クラブは特定非営利活動法人REALコンパスに決定。
- ・福地・中泉・感田・下境・上頓野・直方東学童クラブは株式会社テノ・コーポレーションに決定。
- ・植木学童クラブは今までと同じ特定非営利活動法人プラタナスに決定。

③ 直方市地域子育て支援センター委託事業者について（報告）

- 直方市地域子育て支援センター委託事業者について事務局から結果を報告。
- ・12月16日にプロポーザルを実施し、12月18日に決定・公表した。
- ・特定非営利活動法人REALコンパスに決定。

○質疑応答

- （委員）学童と業者が同じなのは連動させるというような意図があるのか。
- （事務局）独立してプロポーザルを実施した結果学童と同じ業者に決定した。

④ 令和7年度の施設整備について（報告）

- 令和7年度の施設整備について事務局から状況を報告。
- ・若草保育園の施設整備について、国への協議をあげている。

○質疑応答

- （委員）現在申請をしているということか。
- （事務局）はい。ただ、国に協議書を提出した段階であるためまだ決定はしていない。
- （委員）直方市の予算に関わってくるのか。
- （事務局）来年度の予算に計上している。

⑤ 次回の会議について（5月第3週を予定）

- 次回の会議について事務局から報告。
- ・次回は5月の第3週を予定している。

議題3については承認

○すべての議題終了後、議題1の①で取り上げたこどもへのアンケート調査について委員よりコメント

（委員）子ども・子育て会議では直方市のこども達を保護者だけでなく直方市として育てていくという意識のもと、何かできることがあればと思い発言している。その点、アンケートに回答しなかった約6割の保護者は子どもを学童クラブに預けてしまえばそれでいいと思っていないか、学童クラブというものに対して無関心なのではないかと感じた。

（委員）比べるものがない、選択肢がないということも原因の一つだと考える。選べるもの

があれば様々な要望が出てくるのではないか。

(委員) 保護者とともに子どもを育てることが本当の学童クラブの在り方ではないかと思っている。そのような意識を持った保護者が以前より減っているように感じる。

(事務局) 回答率が上がるということが子どもに関心がある、直方の子育てに関心があるという保護者が増えることだと思う。もしかしたら今回のアンケートの実施方法や配布の伝え方に要因があったかもしれない。こちらとしても学童クラブの保護者に意見をいただきたいという前向きな気持ちはあるため今後何か工夫をしていきたい。

閉会